

# 寺報

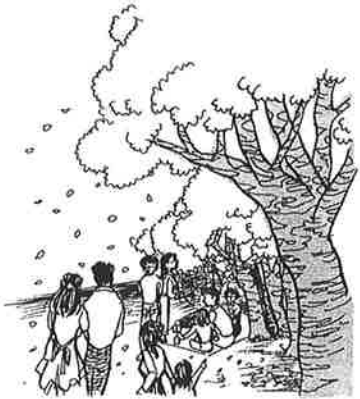
No.668

令和5年4月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

おのおの  
 各々我が弟子と名のらん人々は  
 いちにん  
 一人も臆し思はるべからず。親を  
 おも  
 思い、妻子を思い、所領を顧る事  
 なかれ。  
 『種種御振舞御書』



### (解説)

日蓮大聖人は、弟子や信者達に法華経・お題目の信仰を常に持続して信仰する事を教えてきました。しかし、人間誰しも、信仰をつらぬき通すという事は、中々むずかしいものなのです。時には、他の宗教からの勧誘により心に迷いが生じ信仰を捨てたり、またやめようとする人も出てきます。

日蓮大聖人は「いやしくも日蓮が弟子と名のる者はたとえ一人であつても臆病であつてはいけません。そして、この法華経の為には親も妻子も領地もその他何ものをも惜しんではなりません。」とかなり強い口調でその思いを現わされました。

ですから、我々は今この大事な時にこそ、大聖人の約束を護つていかなければならないのです。

皆様の中にも「これからお守り(霊神符)を持ち、一生懸命信仰します。」と約束する人は多いのですが、これ続ける人が少ないのが現状です。

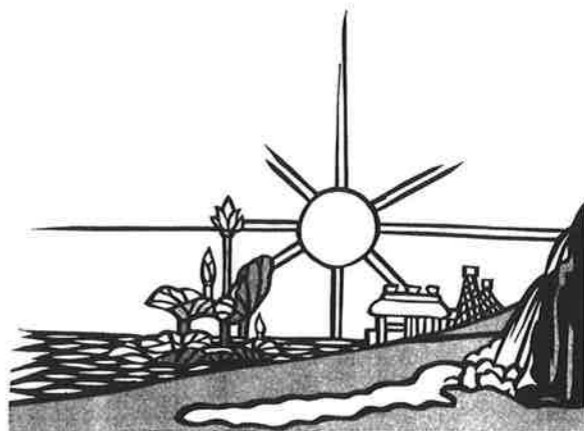
しかし、我々はこういうつらい時にこそ、神仏を心の頼りとし、信仰を通していくべきなのです。

# え たん こう ご そ じゅう 会 誕 降 御 祖 宗

四月十三日(木)

午後一時より

場所…大本堂



日蓮聖人生誕・妙の浦

\*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。

\*皆さんでお祝い致しましょう。

\*お供物も受け付けます。

## 日蓮大聖人ご生誕の地

日蓮大聖人がお生まれになりました地は、今の千葉  
県鴨川市の小湊という小さな漁村です。

誕生の日は貞応元年(一二二二)二月十六日で、年代  
こそは違えども、不思議な事にお釈迦様がお亡くなり  
になりました、二月十五日の翌日に当ります。

これはまさにお釈迦様に代わり、最高の教えでありま  
す「法華経」を、末法の今の世の人に広める為に生ま  
れ変わった方だといえるでしょう。

後に、生家に建てられましたお寺は『誕生寺』と名付  
けられ、人々の信仰の場として繁栄しました。

しかし、この地も二度に渡る大地震と津波に襲われ、  
本堂と多くの宝物も流失してしまいました。

その後、現在地に再興されたのは、江戸時代の中頃で  
あり、特に『水戸光圀』公(黄門様)の援助が大きい  
といわれています。

しかし、残念な事に本来のお生まれになった地は、今  
では海中に没してしまいました。今は『鯛の浦』と  
呼ばれ当地の名所になっています。

『鯛の浦』は日蓮大聖人誕生の時、それを喜んだ鯛が  
群れ集まったという伝説から、別名『妙の浦』ともい  
われています。

日蓮大聖人は自らの事を「漁夫の子」と称しているだ  
けに、この鯛は日蓮大聖人の生まれ変わりときれ、  
昔より捕獲する事は禁じられていて、この地がたとえ  
食糧難になった時でさえも、地元の人々は決して捕る  
事はしなかったそうです。  
その為、今でも日本有数の天然の鯛の群生地として有  
名で、『誕生寺』参拝者の他に多くの観光客も訪れて  
います。

## 【十三日のお勤め】

### に参拝しましょう

「十三日のお勤め」は、日蓮大聖人の大事な(月ご命  
日)の日です。  
皆様もご報恩の為に参拝し、ご一緒に法華経・お題目  
を唱えて下さい。

(注)先月より大本堂の内陣でお勤めをしています。

●毎月十三日午後一時より

## 『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が  
唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様  
が今後代々に渡り守り続けられます。

◎仏様のご命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の  
時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお  
上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせ  
て戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので  
『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来  
ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに  
仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり  
青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきて  
いますが、それでも構いません。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の  
方に、上位で空いています『位牌壇』を数がある限  
り無料でお譲りします。

ですから【三席】から【特席】にも上がれます。

◎詳細は事務所まで!

### お題目と共に生きた人々

信仰の強さにささえられた絵師

#### 『狩野元信』(一四七六〜一五五九)

「狩野派」は、室町時代から明治に至る日本絵画史上最大の画派であり、元信の父『狩野正信』が始祖となります。

『狩野元信』は父の後を受け継ぎ、足利將軍家の御用絵師となり、また仏門にも入り「永仙」と号し、天皇より「法眼」という高い位に叙せられました。絵画によつて法眼に叙せられたのは、元信が初めてでありました。

彼は、水墨画に大和絵の画法を取り入れ、写実を基礎としながら、水墨画装飾化への傾向を推し進め、狩野派の画風を大成した人です。

そして、障壁画や肖像画、絵巻物と絢爛たる作品も多く世に出しました。

更に、狩野派で特筆すべき事は、一族のすべてが日蓮宗(法華宗)の熱心な信者であつたという事であります。

元信自身も数々の名作と共に、「日蓮聖人像」の一幅を描いており、これも強い法華信仰から生まれた芸術品といわれています。

元信は、永禄二年十月六日、八十四歳で逝去され、父正信と共に京都「妙覚寺」に葬られています。

法号は『善巧院元信法眼日到大居士』といひます。彼の逸話として身延山に伝えられているお話があります。

元信は身延に詣でて、仏殿や客殿に多くの絵を書きましたが、ある時、鷲の絵を書いて納めると、鷹がその鷲の絵を本物と勘違いし、何度も襲うという事件が起きたので、ついには、身延山ではこの鷲の絵を取り去り秘蔵にしたといわれています。

また、子孫であり狩野派中興の祖といわれ、江戸における活躍の基礎を築いた『狩野探幽』も、熱心な法華の信仰を受け継ぎ、京都の「本法寺」に『日蓮聖人竜口法難図』を奉納しました。

これは、探幽の信仰の深さを物語る逸品と称賛され、後世に狩野家の信仰を表す、作品の一つとなっております。

### 檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十二日(土)

#### 聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

\*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

\*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

#### 『靈神符』を持ちましょう!

最近は思いもよらぬ事件・災難・事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。皆様も素直に毎月一日のお守りを持って、身体を守つてもらいましょう。なお宗旨宗派は問いません。

### 『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文 「謹みて礼拝し奉る」 [4ページ]

開経偈 「無上甚深微妙の法」 [6ページ]

読経 「方便品第二」 [9ページ]

「如来寿量品第十六」 [13ページ]

「如来神力品第二十一」 [19ページ]

「觀世音菩薩 普門品第二十五」 [23ページ]

「陀羅尼品第二十六」 [30ページ]

「普賢菩薩 勸発品第二十八」 [35ページ]

懺悔文 「夫れ懺悔は治病の」 [47ページ]

御妙判 「祈 禱 鈔」 [67ページ]

御題目 「南無妙法蓮華經」 [72ページ]

宝塔品偈 「此 經 難 持」 [72ページ]

回向文 「導師が唱えます」 [76ページ]

四誓願 「誓つて南無妙法蓮」 [76ページ]

三整唱 「なむめうほうれん」 [77ページ]

彈指合掌

以上

### 『朝のお勤め』のススメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』ちょうごんえを執り行っています。

時間は、大本堂・小本堂・位牌堂を回りまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞ一緒に読み下さい。

初めは難しいですが、繰り返し事で段々慣れてくると思われますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申し込まれて

いる方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけて、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」さんげもん「懺悔文」さんげもん「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

お勤めはイス席で行っています。

②朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千元

### 『靈断』

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導します。

なお、宗旨宗派は問いません。

必ずご予約下さい。(☎七七六一五八四〇)まで

【一件・・・三千元となります】

### 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、当山住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### 『提灯』募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トローロー)を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度のみ一万円となります。

### お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

#### \*お塔婆

◎普通塔婆 (二千五百円)

◎普通幅広塔婆 (三千元)

◎五十回忌用塔婆 (三千五百円)

◎五十回忌幅広塔婆 (四千元)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申し付け下さい。

#### \*お追膳

◎一膳 (五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。  
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

#### \*日蓮宗用過去帳

◎大・五千元 ◎小・四千五百円 【書き代五千元】

#### \*大曼荼羅御本尊

◎極小四千五百円から各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

#### \*大荒行護符 (オブラート・一枚三百円)

#### \*柘入大黒天 (分割可能)

◎一升柘 (手彫・五万円) (機械彫・三万円)

◎五合柘 (手彫・四万円) (注)【魂入・御幣代も含む】

#### \*お経本

◎聖典 (千二百円)

・ついたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用  
◎法華経要品の訓読【日本語読み】 (二千元)  
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

#### \*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット (六百元) ・CD (千円)

◎十三日用のカセット (六百元) ・CD (千円)

#### \*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個 (五千元)

#### \*起工式 (柱立て) 用の棟札

◎大黒柱に掛ける棟札 (三千元)

#### \*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳 (千円)

#### \*朝光水 (身延山の目薬・七百円)

#### \*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等  
色々取り揃えていますのでお申し付け下さい。

# 四月の行事

一 日(土) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(木) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・ お経
  - 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
  - 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(木) 宗祖御降誕会 午後一時より

② 日蓮大聖人の誕生日の日です。

二十二日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

③ どなたでもご自由に参加出来ます。

## ☆ 奉仕のお知らせ

六 日(木) 倉庫整理と境内地の大清掃

教宣部男女・・・午前十時より

\* 今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の方々の奉仕をよろしくお願い致します。

◎ 教宣部長・杉淵昌三

## ☆ 行事のご案内

### \* 盛運祈願会

- ・ 毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
- ・ 一日午後一時からのお勤めに参拝しましょう。

### \* 十三日のお勤め

- ・ 日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・ 午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

### \* 朝のお勤め

- ・ 毎朝、午前六時半より(一時間十分)
- ・ 聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

### ② 剣守札 (星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付けていますので、どうぞお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円